

所長あいさつ

和歌山県教育センター学びの丘のウェブページをご覧いただき、ありがとうございます。

近年、社会はこれまでにない速さで変化し、将来の見通しが立てにくい時代となっています。そうした中で、一人一人が不確かな未来と向き合い、自ら考え、答えを見いだしていく力が、ますます大切になっています。



子どもたちには、受け身の学びにとどまらず、「なぜだろう」「本当かな」と問いをもちながら考える力や、失敗を恐れず何度でも挑戦し、納得のいく答えを見つけようとする力を育てていきたいと考えています。また、現状に満足することなく、様々な人と関わりながら自分の可能性を広げていこうとする姿勢も大切にしていきたいところです。

令和7年9月には中央教育審議会より、次期学習指導要領に向けた「論点整理」が公表され、次の三つの方向性が示されました。

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実装（Excellence）
- ②多様性の包摂（Equity）
- ③実現可能性の確保（Feasibility）

これらは、教育課程の内外にわたり、あらゆる方策を活用しながら、三位一体で具現化していくものとされています。

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りできる民主的で持続可能な社会の創り手を「みんな」で育てることが、今求められています。

そのためには、私たち教育に携わる者自身も学び続ける存在でありたいと考えています。自ら目標を立て、実践し、振り返り、次へとつなげていく、探究的な学びをデザインしていくこと、すなわち「研修観の転換」が大切になってきます。当センターにおきましても、社会の変化を前向きに捉えながら、職員一人一人が主体的に研鑽を重ねてまいります。

本年度も当センターでは、「研修」と「研究開発」を柱に、これまでの取組を生かしながら、より充実した事業の推進に努めてまいります。受講者一人一人の主体的な学びを大切に、市町村教育委員会や学校関係者の皆様と連携しながら、学びに寄り添う「伴走者」として支援してまいります。

皆様におかれましては、当センターの施設や教育資源を是非ご活用いただき、共に学びを深めていただければ幸いです。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年6月

和歌山県教育センター学びの丘
所長 西 蔭 説 子